

石油の里コース



長峯さん(左)と笠原さん(右)

レポーターの紹介

市内の観光コースを2つに分けて、レポーターの感想を交えながらご紹介します。まず最初のコースは、「石油の里コース」です。このコースをレポートしていただいたのは、長峯郁美さん(北上2、20歳)と笠原百合子さん(北上2、19歳)のお二人です。



滝には雄滝と雌滝があり、雄滝(右)の落差は約十五メートルあります。

▲新津にもこんな静かなところがあるなんて感動しました。

石油の里モデルコース

石油の世界館 ～ もみじ園 ～ 堀出神社 ～ 遊歩道
～ 白玉の滝 ～ 開基坪の碑 ～ 観光物産館



遊歩道

▲開通までもない遊歩道。結構いい運動になります。

湿原植物園

(整備予定)

菩提寺山

白玉の滝

駐車場

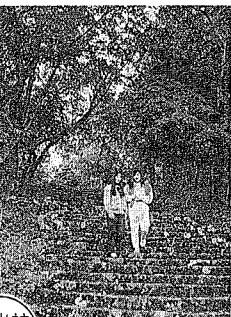
いこいの広場

(整備予定)

堀出神社

堀出神社入口

▲堀出神社への登り口です。秋にはもみじの紅葉がきれいだそうです。

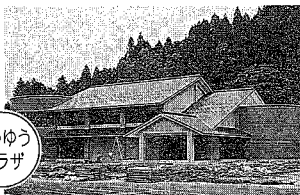


遊歩道

(整備予定)

石油採掘施設

(整備予定)



ゆうゆうプラザ

▲「ゆうゆうプラザ」(観光物産館)には、新津の特産品をはじめ、近隣市町村の特産品も展示されます。



開基坪の碑

中野邸

新津市街

小須戸

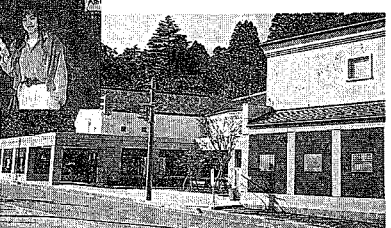
石油の世界館

新津市 石油の世界館

NEITSU CITY PETROLEUM MUSEUM



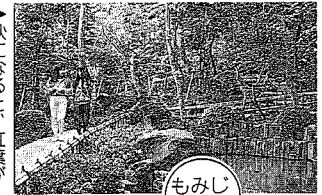
▲新津の石油の歴史がわかる「石油の世界館」



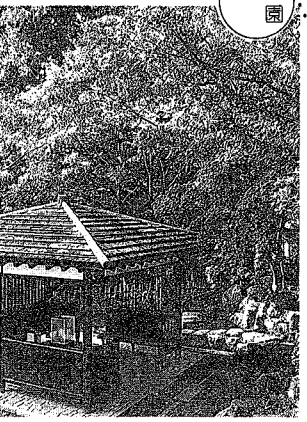
▲「石油の世界館」の開館時間は午前9時30分～午後4時30分(12月28日～1月4日は休み)。入館料は、大人450円、中学生250円、小学生150円。幼児は無料となっています。

開基坪のはなし(新津市誌より)

今から約四百年前、上杉氏の家臣で平賀越前守信實という武将が、今の金津に居城を築きました。その工事をしているときに、土の中から黄金の神体を掘り出しました。その跡からは、黒い水がこんこんと湧き出るといふ不思議な事件が起こりました。信實は、この黒い水(石油)の湧き出たところを「開基坪」と名づけ、この神体は「石油の神様」として祭りました。これが堀出神社の始まりです。この「開基坪」は、昭和の初期までその跡をとどめていたそうです。現在、昭和三十三年に帝國石油株式が選定した場所に、「開基坪の碑」が残っています。



もみじ園



▲あまりにも大きな庭園なので驚きました。

市内の人にも来てほしい「石油の里」。「石油の里」には、あまりいいイメージは持っていませんでした。しかし、実際に行ってみると、石油の世界館、もみじ園、白玉の滝などがあって、「新津にもこんなところがあったんだ」と素直に感動しました。石油の世界館では、私た

ちが日ごろ感じるこのでさな新津の一面を、体で感じる事ができました。これだけの施設があるのだから、もっとPRをしたりイベントなどをやりたい。白玉の滝の写真撮影会なんていいと思います。石油の里。市内に住んでいる人にも、来てもらいたいと思います。(笠原)

今度もみじ園の紅葉が見てみたい...昔、石油のまちとして栄えた金津。今回、その金津地区を半日かけて回りました。石油の世界館やもみじ園などの施設には、とても興味を持っていました。特に、石油の世界館の迫力ある映像と老舗の新鮮な汁の語りを楽しみました。グリ

マシアターには、驚きました。石油の歴史が一目で知ることができました。世界館の裏のもみじ園も見事でした。ただ、お年寄りには、ちょっときついのではないかと思います。庭園内には、もみじがたくさんあったので、紅葉の時期になったら、今度は家族といっしょに来てみたいです。(長峯)